

○竹田市土木工事成績評定要領

平成17年8月25日

告示第134号

(目的)

第1 この要領は、竹田市が発注する土木工事成績の評定(以下「評定」という。)に関し必要な事項を定めることにより、厳正かつ的確な評定の実施を図り、もって請負業者の適切な選定及び建設業の健全な発展に資することを目的とする。

(評定の対象)

第2 評定の対象とする工事は、原則として1件の設計金額が130万円以上の工事とする。

(平21告示30・一部改正)

(評定者)

第3 評定を行う者は、竹田市土木工事検査要綱(平成17年竹田市告示第136号)第2条に定める検査員及び監督員とする。

(平19告示32・一部改正)

(評定の方法)

第4 評定は、監督、検査その他必要な事項について、工事ごと、評定者ごとに独立して的確かつ公正に行うものとする。

2 評定の結果は、工事成績評定表(様式第1号。以下「評定表」という。)に記録するものとする。

3 工事成績の評定は、工事成績採点表(様式第2号)により行うものとする。

4 請負者から、工事における高度技術、創意工夫、社会性等、施工及び管理についての実施状況を示す資料が提出された場合、又は監督員の指示により工事の施工及び管理についての実施状況を示す資料が提出され、若しくは提示された場合はこれらを評価の対象とすることができる。

(評定の時期)

第5 評定を行う時期は、検査員にあつては検査要綱第3条第2項及び第3項に定める完成検査及び出来形検査を実施したとき、監督員にあつては工事が完成したときとする。

(評定表の提出)

第6 評定者は、評定を行ったときは、遅滞なく、市長に評定表を提出するものとする。

(評定の結果)

第6—2 評定の結果は、次の表の区分により評価する。

評価	評定点
2A	80点以上
A	75点以上80点未満
B	70点以上75点未満
C	60点以上70点未満

D	60点未満
---	-------

(評定の結果の通知)

第7 市長は、評定者から評定表の提出があったときは、遅滞なく、当該工事の請負者に対して、工事成績評定点通知書(様式第3号)により評定の結果を通知するものとする。

(評定の修正)

第8 市長は、第7の通知をした後、当該評定を修正する必要があると認めるときは、評定を修正しなければならない。

2 市長は、前項の修正を行ったときは、遅滞なく、その結果を当該工事の請負者に通知するものとする。

(説明請求等)

第9 第7又は第8による通知を受けた者は、通知を受けた日から起算して14日以内に、書面により、市長に対して、評定の内容について説明を求めることができる。

2 市長は、前項の規定により説明を求められたときは、速やかに、工事成績評定点に係る回答書(様式第4号)により回答するものとする。この場合において必要と認めるときは、市長は、土木工事成績評定評価委員会に意見を求めることができる。

3 工事成績評定評価委員会に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この告示は、平成17年9月1日から施行し、同日以降に完成する工事について適用する。

附 則(平成19年告示第32号)

この告示は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成21年告示第30号)

この告示は、平成21年4月1日から施行する。

附 則(平成22年告示第20号)

この告示は、平成22年4月1日から施行する。

工事成績評定表 (土木工事)							
市長		副市長		入札・検査 課 長			
主管課長		課長補佐		係 長		工 事 担当者	
工事名							
工事場所							
当初設計額				最終設計額			
当初請負額				最終請負額			
工期	当初	自 至		変更	自 至		
完成年月日				出来形検査年月日			
完成検査年月日				中間検査年月日			
請負者	商号又は名称			現場代理人氏名			
	代表者氏名			専任(監理)技術者			
完成検査員職氏名			印	監理技術者氏名			
出来形検査員職氏名			印	監督員職氏名			
中間検査員職氏名			印	監督員職氏名			
評点							
監督員	(1) 監督員(担当員、担当係長)評定点					点	
	(2) 監督員(担当課長、課長補佐)評定点					点	
検査員	(3) 出来形検査員評定点					点	
	(4) 完成検査員評定点					点	
(5) 法令遵守等					点		
評定点合計 = {(1)×0.4+(2)×0.2+(3)×0.2+(4)×0.2} - (5) =							
出来形検査ができなかった場合 = {(1)×0.4+(2)×0.2+(4)×0.4} - (5) =					点		

工事名		工事		工事場所		市・郡					町・村大字					契約金額(最終)					円										
請負者名		代表者名					工期					年 月 日～					年 月 日					完成年月日					年 月 日				
考 査 項 目		監督員(1)					監督員(2)					検査員(出来形)					検査員(出来形)					検査員(完成)									
		氏名					氏名					氏名					氏名					氏名									
項 目	細 別	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e					
1 施行体制	I 施工体制一般		+1.5	0	-5.0	-10																									
	II 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10																									
2 施行状況	I 施工管理		+1.5	0	-5.0	-10						+5	+2.5	0	-7.5	-15	+5	+2.5	0	-7.5	-15	+5	+2.5	0	-7.5	-15					
	II 工程管理	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10	+10	+5	0	-7.5	-15																				
	III 安全対策	+2.0	+1.0	0	-5.0	-10	+15	+7.5	0	-7.5	-15																				
	IV 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5																									
3 出来形 及び 出来ばえ	I 出来形	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5						+10	+5.0	0	-10	-20	+10	+5.0	0	-10	-20	+10	+5.0	0	-10	-20					
	II 品質	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5						+15	+7.5	0	-12.5	-25	+15	+7.5	0	-12.5	-25	+15	+7.5	0	-12.5	-25					
	III 出来ばえ											+5	+2.5	0	-5		+5	+2.5	0	-5		+5	+2.5	0	-5						
4 高度技術	I 高度技術力 ※2	+	(13)	0																											
5 創意工夫	I 創意工夫 ※2	+	(7)	0																											
6 社会性等	I 地域への貢献等※3						+10	+5	0																						
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		+ 点					+ 点					+ 点					+ 点					+ 点									
評定点 (65±加減点合計) ※1		① 点					② 点					③ 点					③ 点					④ 点									
7 評定点計		○出来形検査があった場合：(① 点×0.4+② 点×0.2+③※ 点×0.2+④ 点×0.2) = 点 ※ただし、③出来形検査が2回以上の場合は平均値 ○出来形検査がなかった場合：(① 点×0.4+② 点×0.2+④ 点×0.4) = 点																													
8 法令遵守等 ※6		-					-					-					-					-									
9 評定点合計 ※7		点					○7 評定点計(点) - 8 法令遵守等(点) =					点					点														
所 見 ※4	監督員(1)	監督員(2)										検査員																			

※1 1～3、6の評定(65点±加減点合計)+4、5、6の評定(加減点合計)-8の評定(減点)=評定点
各評定点(①～④)は少数第1位まで記入する。

※2 高度技術及び創意工夫の評定は工事全般を通して、特に優れた技術等を評価する項目とする。そのため、キーワードと評定内容の記述方法とし、加点評価のみとする。

※3 社会性等の評価では地域への観点から、加点評価のみとする。また、法令遵守等は、減点評価のみとする。

※4 所見は必ず記載するものとする。

※5 各検査項目ごとの採点は、監督員(1)は別紙—1①～別紙—1⑦、監督員(2)は別紙—2①～別紙—2③、検査員は別紙—3①～別紙—3④—5によるものとし、完成検査員の評価に先立ち、監督員が記入する。なお、監督員(2)の考査は上席の監督員が行うものとし、他の監督員は監督員(1)の考査を行うものとする。

※6 法令遵守等の評価は、監督員(2)が行う。

※7 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

工事名		工事		工事場所		市・郡					町・村大字					契約金額(最終)					円										
請負者名		代表者名					工期					年 月 日～					年 月 日					完成年月日					年 月 日				
考 査 項 目		監督員(1)					監督員(2)					検査員(出来形)					検査員(出来形)					検査員(完成)									
		氏名					氏名					氏名					氏名					氏名									
項 目	細 別	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e					
1 施行体制	I 施工体制一般		+3.0	0	-5.0	-10																									
	II 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10																									
2 施行状況	I 施工管理		+4.0	0	-5.0	-10						+5	+2.5	0	-7.5	-15	+5	+2.5	0	-7.5	-15	+5	+2.5	0	-7.5	-15					
	II 工程管理	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10	+15	+7.5	0	-7.5	-15																				
	III 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10	+20	+10	0	-7.5	-15																				
	IV 対外関係	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5																									
3 出来形 及び 出来ばえ	I 出来形	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5						+10	+5.0	0	-10	-20	+10	+5.0	0	-10	-20	+10	+5.0	0	-10	-20					
	II 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5						+15	+7.5	0	-12.5	-25	+15	+7.5	0	-12.5	-25	+15	+7.5	0	-12.5	-25					
	III 出来ばえ											+5	+2.5	0	-5		+5	+2.5	0	-5		+5	+2.5	0	-5						
4																															
5																															
6																															
加減点合計(1+2+3)		+ - 点					+ - 点					+ - 点					+ - 点					+ - 点									
評定点 (65±加減点合計) ※1		① 点					② 点					③ 点					③ 点					④ 点									
7 評定点計		○出来形検査があった場合：(① 点×0.4+② 点×0.2+③※ 点×0.2+④ 点×0.2) = 点 ※ただし、③出来形検査が2回以上の場合は平均値 ○出来形検査がなかった場合：(① 点×0.4+② 点×0.2+④ 点×0.4) = 点																													
8 法令遵守等 ※6		-					-					-					-					-									
9 評定点合計 ※7		点					○7 評定点計(点) - 8 法令遵守等(点) = 点																								
所 見 ※4		監督員(1)					監督員(2)										検査員														

- ※1 1～3、6の評定(65点±加減点合計)+4、5、6の評定(加減点合計)-8の評定(減点)=評定点
各評定点(①～④)は少数第1位まで記入する。
- ※2 高度技術及び創意工夫の評定は工事全般を通して、特に優れた技術等を評価する項目とする。そのため、キーワードと評定内容の記述方法とし、加点評価のみとする。
- ※3 社会性等の評価では地域への観点から、加点評価のみとする。また、法令遵守等は、減点評価のみとする。
- ※4 所見は必ず記載するものとする。
- ※5 各検査項目ごとの採点は、監督員(1)は別紙—1①～別紙—1⑦、監督員(2)は別紙—2①～別紙—2③、検査員は別紙—3①～別紙—3④—5によるものとし、完成検査員の評価に先立ち、監督員が記入する。なお、監督員(2)の考査は上席の監督員が行うものとし、他の監督員は監督員(1)の考査を行うものとする。
- ※6 法令遵守等の評価は、監督員(2)が行う。
- ※7 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)適用様式一覧

評定者	考査項目	細別	工種	様式番号	備考
監督員(1)	1 施工体制	I 施工体制一般		別紙—1①	
		II 配置技術者		〃	
	2 施工状況	I 施工管理		別紙—1②	
		II 工程管理		〃	
		III 安全管理		別紙—1③	
		IV 対外関係		〃	
	3 出来形及び出来ばえ	I 出来形		別紙—1④	
II 品質			別紙—1⑤	試験結果の打点数が少なく、ばらつきの判断ができない場合は、別紙—3③—1～③—20の工種別の評価対象項目による。	
4 高度技術	I 高度技術力		別紙—1⑥		
5 創意工夫	I 創意工夫		別紙—1⑦		
監督員(2)	2 施工状況	II 工程管理		別紙—2①	
		III 安全管理		〃	
	6 社会性等			別紙—2②	
8 法令遵守等			別紙—2③		
検査員 (完成・出来形)	2 施工状況	I 施工管理		別紙—3①	
	3 出来形及び出来ばえ	II 品質	コンクリート構造物	別紙—3③—1	
			土工事	〃	切土、盛土、築堤等工事。
			護岸・根固・水制工事	別紙—3③—2	
			鋼橋工事	〃	RC床版工事はコンクリート構造物に準じる。 堰・水門等工場製作の鋼構造物を含む。
			防災及び急傾斜工事	別紙—3③—3	集水井戸工事を含む。
			舗装工事	別紙—3③—4	
			法面工事	別紙—3③—5	
			基礎工事	別紙—3③—6	地盤改良等を含む。
			コンクリート橋工事	〃	PC及びRCを対象。
			塗装工事	別紙—3③—7	
			トンネル工事	〃	
			プレキャストコンクリート製品据付工事	別紙—3③—8	排水工等
			プレキャスト擁壁据付工事	〃	
			(大型)ブロック積(張)・石積(張)工事	別紙—3③—9	護岸工を除く
補強土工・補強土壁工	〃				

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)適用様式一覧

評定者	考査項目	細別	工種	様式番号	備考
検査員 (完成・出来形)	3 出来形及び 出来ばえ	II 品質	捨石・被覆石・根固石工事	別紙—3③—10	単独工事
			木材工事	別紙—3③—11	単独工事
			カゴマット工事	〃	単独工事
			床版補強工事	別紙—3③—12	鋼板接着工、炭素繊維シート接着工
			管布設工事	別紙—3③—13	下水道
			構造物撤去工事、解体工事	〃	単独工事
			植栽工事	別紙—3③—14	
			防護柵(網)・標識・区画線等設置工事	〃	
			魚礁設置工事	別紙—3③—16	水産土木工事仕様書第2章を適用する工事。
			水路工事	別紙—3③—17	
			ほ場整備工事	〃	
			管水路工事及び畑地かんがい工事	別紙—3③—18	
			ため池工事	〃	
			機械設備工事	別紙—3③—19	土木工事に係る機械設備工事(可動堰、ポンプ等)で、建築工事に係るものを除く。
			電気設備工事	〃	土木工事に係る電気設備工事(道路照明設備、情報板等)で、建築に係るものを除く。
			維持修繕工事	〃	主たる工種の考査事項で考査し、様式は別紙—3⑩—2による。
			上記以外の工事又は合併工事	別紙—3③—20	主たる工種が上記以外の工事又は考査事項を合併するなど、別途作成する必要がある工事。
検査員 (完成・出来形)	3 出来形及び 出来ばえ	III 出来ばえ	コンクリート構造物	別紙—3④—1	
			防災及び急傾斜工事	〃	
			トンネル工事	〃	
			土工事	〃	盛土、築堤工事等。
			切土工事	〃	
			護岸・根固・水制工事	〃	
			鋼橋工事	〃	RC床版工事はコンクリート構造物に準じる。堰・水門等工場製作を含む。
			地すべり防止工事	〃	集水井戸工事を含む。
			舗装工事	〃	
			法面工事	〃	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)適用様式一覧

評定者	考査項目	細別	工種	様式番号	備考
検査員 (完成・出来形)	3 出来形及び 出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	基礎工事	別紙—3④—2	地盤改良等を含む。
			コンクリート橋工事	〃	PC及びRCを対象。
			塗装工事	〃	工場塗装を除く。
			植栽工事	〃	
			防護柵(網)工事	〃	
			標識工事	〃	
			区画線工事	〃	
			プレキャストコンクリート製品 据付工事	別紙—3④—3	排水工等
			プレキャスト擁壁据付工事	〃	
			(大型)ブロック積(張)・石積 (張)工事	〃	護岸工を除く。
			補強土工・補強土壁工	〃	
			捨石・被覆石・根固石工事	別紙—3④—4	単独工事
			木材工事	〃	単独工事
			カゴマット工事	〃	単独工事
			床版補強工事	〃	鋼板接着工、炭素繊維シート接着工
			管布設工事	〃	下水道
			構造物撤去工事、解体工事	〃	単独工事
				〃	
			水路工事	別紙—3④—5	
			ほ場整備工事	〃	
			管水路工事及び畑地かんがい工 事	〃	
			ため池工事	〃	
			機械設備工事	別紙—3④—6	土木工事に係る機械設備工事(可動堰、ポンプ等)で、建築工事に係るものを除く。
			電気設備工事 その他類似工事	〃	土木工事に係る電気設備工事(道路照明設備、情報板等)で、建築に係るものを除く。
			維持修繕工事	〃	主たる工種の考査事項で考査し、様式は別紙—3⑤による。
			上記以外の工事又は合併工事	〃	主たる工種が上記以外の工事又は考査事項を合併するなど、別途作成する必要がある工事

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
1 施工体制	I 施工体制一般		施工体制が適切である	他の事項に該当しない	施工体制がやや不備である	施工体制が不備である	
		<p>「評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 作業分担の範囲が施工体制台帳、施工体系図で確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事カルテの登録は、監督員の確認を受けた上で契約後10日以内に行われている。 <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度の主旨を作業員等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。 <input type="checkbox"/> 請負代金内訳書が契約後14日以内に提出されている。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図が整備され、施工体系図も現場に掲げられ、現場と一致している。 <input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、機械配置がなされ施工している。 <input type="checkbox"/> 報告のない下請の実態がなく、下請報告のある場合は元請負者が下請工事の施工に実質的に関与しており、工事完成後に施工体系図が提出されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由() <p>該当項目が80%以上・・・・・・b ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 該当項目が60%以上80%未満・・・・c ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値 該当項目が60%未満・・・・・・d で評価する。 ③ 対象評価項目数()=その他を除く全項目数(7)－対象外項目数() 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 施工体制が不備であり、監督員から文書により改善指示を行った。 <p>上記該当事項があれば・・・・e</p>	
	II 配置技術者 (現場代理人等)		技術者が適切に配置されている	技術者がほぼ適切に配置されている	他の事項に該当しない	技術者の配置がやや不備である	技術者の配置が不備である
		<p>「評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現場代理人として、工事全体の把握ができています。 <input type="checkbox"/> 現場代理人として、監督員との連絡調整を書面で行っている。 <input type="checkbox"/> 書類整理、資料整理が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、創意工夫又は提案をもって工事を進めている。 <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、指針等を良く理解し、現場に反映して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> 設計図書の照査が十分で、現場との相違があった場合は適切に対応している。 <input type="checkbox"/> 作業環境、気象、海象、地質条件等の困難克服に努めている。 <input type="checkbox"/> 下請の施工体制、施工状況を把握し、部下等共によく指導している。 <input type="checkbox"/> 主任技術者又は、監理技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めた。 <input type="checkbox"/> 作業主任者を選任し、配置している。 <input type="checkbox"/> 専門技術者を選任し、配置している。 <p><input type="checkbox"/> 現場代理人が常駐し、専任主任技術者(監理技術者)が専任している。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由()</p> <p>該当項目が90%以上・・・・・・a ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 該当項目が80%以上90%未満・・・・b ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価す 該当項目が60%以上80%未満・・・・c る。 該当項目が60%未満・・・・・・d ③ 対象評価項目数()=その他を除く全項目数(14)－対象外項目数() 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現場代理人等の技術者配置が不備で、監督員から文書により改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 専門技術者が配置されていない。 <p>1項目でも該当あれば・・・・d 2項目該当・・・・・・e</p>	

[記入方法] 該当する項目の□に レ マークを記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
2 施工状況	I 施工管理		施工管理が適切である	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である	
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 契約約款第18条第1項第1号から5号に係わる設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制等が一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の内容が設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。 <input type="checkbox"/> 工事材料の使用及び調達計画が十分なされ、管理されている。 <input type="checkbox"/> 品質確保のための対策がみられる。 <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理が適時、的確に行われている。 <input type="checkbox"/> 日常の品質管理が適時、的確に行われている。 <input type="checkbox"/> 現場内での整理整頓が日常的になされている。 <input type="checkbox"/> 使用材料等の品質証明書等又は工事記録写真等が適切に整理されている。 <input type="checkbox"/> 現場でのイメージアップに積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 立会確認の手続きが事前になされている。 <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされている。 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切になされている。 <input type="checkbox"/> 工事全体で使用機械、車両等で低騒音、排出ガス対策機械を使用している。 <input type="checkbox"/> 段階確認、立会の申請が適切な時期に行われている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、計画内容に変更が生じた場合は、その都度、当該工事着手前に変更計画書が提出されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由()			<input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により改造請求を行った。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着工前に提出されていない。 <input type="checkbox"/> 定められた工事材料の検査義務を怠り、破壊検査を行った。 <input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、監督員から文書により改善指示を行った。 上記1項目でも該当あれば・・・d 2項目以上あれば・・・・・・・・e		
	II 工程管理		工程管理が適切である	工程管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っている。 <input type="checkbox"/> 時間制限、片側交互交通等の各種制約があるにもかかわらず工程の短縮を行った。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変更への対応が積極的で処理が早く、また地元調整を積極的に行い円滑な工事進捗を行った。 <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> 工程表の内容が検討され充実している。 <input type="checkbox"/> 夜間や休日等の作業が少なく、余裕をもって期限内に完成した。 <input type="checkbox"/> 現場事務所での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握している。 <input type="checkbox"/> 工事履行報告が適正に行われ、工事全体を通して計画と実施工程(進捗率)が対比できる工程表が提出されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由()			<input type="checkbox"/> 請負者の責により期限内に工事を完成させなかった。(ただし、改善指示による場合を除く) 上記該当あれば・・・e <input type="checkbox"/> 自主的な工程管理がなされず、監督員から文書により改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d		
		該当項目が80%以上・・・・・・・・b 該当項目が60%以上80%未満・・・c 該当項目が60%未満・・・・・・・・d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=その他を除く全項目数(17)-対象外項目数() 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				
		該当項目が90%以上・・・・・・・・a 該当項目が80%以上90%未満・・・b 該当項目が60%以上80%未満・・・c 該当項目が60%未満・・・・・・・・d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=その他を除く全項目数(8)-対象外項目数() 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レ マークを記入する。

監督員(1)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況	III 安全対策	安全対策を適切に行った	安全対策をほぼ適切に行った	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備であった	安全対策が不備であった
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告している。 <input type="checkbox"/> 安全教育、訓練等を4時間/月以上適時、的確に実施し、記録が整備され、かつ創意工夫をしている。 <input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM(ツールボックスミーティング)、KY(危険予知活動)等を実施し記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全管理の臨機の措置を行った。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 使用機械、車両等の点検整備等がなされ、管理されている。 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> 山留め、仮締切等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 足場や支保工について、組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 工事現場における保安施設等の整備・設置・管理が的確であり、よく整備されている。 <input type="checkbox"/> 下請作業員に対する安全教育・訓練が確実に実施され、名簿及び写真等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由()			<input type="checkbox"/> 安全対策の不備により重大な災害等を受けた。 上記該当あれば・・・e <input type="checkbox"/> 安全管理に関する現場管理又は防災対策が不適切であった。 上記該当あれば・・・d	
	IV 対外関係	a	b	c	d	e
		対外関係が適切であった	対外関係がほぼ適切であった	他の事項に該当しない	対外関係がやや不備であった	対外関係が不備であった
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公庁等の関係機関と調整し、トラブルの発生がない。 <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、地元との適切な調整を行った。 <input type="checkbox"/> 苦情に対して的確に対応し、良好な対外関係であった。 <input type="checkbox"/> 積極的な地元対策を実施し、第三者からの苦情がなかった。又は苦情によるトラブルが少なかった。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与している。 <input type="checkbox"/> その他 理由()			<input type="checkbox"/> 関連工事との調整に関して、発注者の指示に従わなかったため、関連工事を含む工事全体の進捗に支障が生じた。 上記該当あれば・・・e <input type="checkbox"/> 請負者の対応による苦情が多い。又は対応が悪くトラブルがあった。 <input type="checkbox"/> 関連法令に違反するおそれがあったため、監督員から文書により指示を行った。 上記該当あれば・・・d	
		該当項目が90%以上・・・a 該当項目が80%以上90%未満・・・b 該当項目が60%以上80%未満・・・c 該当項目が60%未満・・・d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=その他を除く全項目数(14)-対象外項目数() 評価値()%=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。			
		該当項目が90%以上・・・a 該当項目が80%以上90%未満・・・b 該当項目が60%以上80%未満・・・c 該当項目が60%未満・・・d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=その他を除く全項目数(5)-対象外項目数() 評価値()%=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レ マークを記入する。

監督員(1)

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ I 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目で工程能力図等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目で工程能力図等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。
<p>※ ばらつきの判断は別図参照</p> <p>① 出来形の評定は、工事全般を通したものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。 ③ 出来形管理とは、「土木工事の施工管理基準及び規格値」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。 ④ 工程能力図の作成を必要としない工事については、c評価とする。</p> <p>○ばらつきが概ね50%以内の項目 ○ばらつきが概ね50%～80%の項目</p> <p>○ばらつきが80%以上の項目 ○工程能力図等が不備でばらつきが判断できない項目</p>				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
機械設備工事 ・ 電気設備工事	a	b	c	d	e
※上記欄によらず、当該欄で評価	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 出来形管理図又は出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できる。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定して、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 自社の写真管理基準等を設定し、創意工夫をもって適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 製品の形状、寸法の設計値に対する実測値が許容範囲内であり、満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の性能、機能において、実測値が設計値以上となっており、満足している。 <input type="checkbox"/> その他 理由()			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	該当項目が90%以上・・・a 該当項目が80%以上90%未満・・・b 該当項目が60%以上80%未満・・・c 該当項目が60%未満・・・d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=その他を除く全項目数(6)-対象外項目数() 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レ マークを記入する。

監督員(1)

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が試験基準を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
II 品質	<input type="checkbox"/> 全ての項目についてばらつきが少なく、品質が優れている。	<input type="checkbox"/> ほとんどの項目についてばらつきが少なく、ばらつきが大きい項目がない。			
<p>① 品質の評定は、工事全般を通したものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。 ③ 品質管理とは、「土木工事の施工管理基準及び規格値」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。 ④ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、別紙—3③—1～③—18の評価対象項目により評価する。 ⑤ 品質管理を全く必要としない工事については、c 評価とする。</p> <p>○ばらついている項目 ○度数表等が不備でばらつきが判断できない項目</p> <p>○ばらつきが大きい項目</p>			<p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e</p>		
機械設備工事 ・ 電気設備工事	a	b	c	d	e
※上記欄によらず、当該欄で評価	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が充分実施され、内容が確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 部品の品質、性能が証明書等で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の機能、性能管理が設計図書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係が、所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が設計図書のとおり確保され、内容が確認でき、満足している。</p> <p>該当項目が 90%以上・・・a 該当項目が 80%以上90%未満・・・b 該当項目が 60%以上80%未満・・・c 該当項目が 60%未満・・・d</p>			<p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記項目に該当があれば・・・d</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e</p>		
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線引いてを削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=その他を除く全項目数(9)-対象外項目数() 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p>					

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□及び○に レ マーク、・に○を記入する。

監督員(1)

考査項目	細別	技術力キーワード一覧表	[事例] 具体的な評価技術力項目及び工事事例
4 高度技術	I 高度技術 キーワード評価	<p>■ 施工規模の大きさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 1 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模</p> <p><input type="checkbox"/> 2 その他(理由:)</p> <p>■ 構造物固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 3 対象構造物の形状の複雑さ(土被り厚やトンネル線形等を含む)</p> <p><input type="checkbox"/> 4 既設構造物の補強、撤去等の特殊な工事</p> <p><input type="checkbox"/> 5 その他(理由:)</p> <p>■ 技術固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 6 工種及び工法の特異性</p> <p><input type="checkbox"/> 7 新工法(機器類を含む)及び新材料の適用</p> <p><input type="checkbox"/> 8 その他(理由:)</p> <p>■ 厳しい自然・地盤条件への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 9 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時)</p> <p><input type="checkbox"/> 10 軟弱地盤、支持地盤の状況</p> <p><input type="checkbox"/> 11 河川内・海域・急峻な地盤条件下等、及び工事用道路・作業スペース等の制約</p> <p><input type="checkbox"/> 12 雨・雪・風・気温・波浪等の影響</p> <p><input type="checkbox"/> 13 地すべり等の地質条件、急流河川での水流、海域での潮流等の影響、動植物等に対する配慮等</p> <p><input type="checkbox"/> 14 その他(理由:)</p>	<p>[施工規模が大規模] 下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切土、盛土工 15万m³<V ・護岸、築堤高 10m<H ・トンネル(シールド) 10m<φ ・ダム用水門<設計水深25m ・樋門、樋管 15m²<A ・揚排水機場 2,000mm<φ ・堰、水門 最大径間長25m以上、又は径間数3径間以上又は50m²/門 ・トンネル(開削工法) 20m<H ・トンネル(NATM) 内空断面積 85m²<A ・トンネル(沈埋工法) 300m²<A ・防波堤、岸壁、海岸堤防、護岸、突堤、突堤・護岸提 水深10m<H ・地すべり防止工 100m<W 又は150m<L ・浚渫工 100万m³<V ・流路工 500m³/S<Q ・砂防ダム 30m<H ・ダム高 150m<H ・転流トンネル 400m³/S<Q ・橋梁下部工 高さ 30m<H ・橋梁上部工 最大支間長 100m<L <p>[事例：構造物固有の施工難度と対応工法等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・地山強度が低い、また、土被りが薄いため、FEM解析等の施工のための検討が必要な工事 ・急傾斜・頭首工工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事 ・鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や、河道内の流水部における橋脚撤去工事 ・供用中の道路トンネルの活線拡幅工事等 ・施工場所や構造物の特異性に対処するための新技術、新工法を採用した工事 ・パイロット工事又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・その他、コンピューターシミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事等 ・VE提案された工法等が高度技術として評価できる場合 ・その他、構造物固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事 <p>[事例：自然及び地盤条件への対応工事等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備のほか、大規模な山留め工法が必要な工事 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本ごとに地質調査を実施するほか、支持地盤を確認しながら再設計した工事 ・軟弱地盤上の緩速盛土のため、施工不可能日(待ち時間)が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事 ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。又は命綱を使用する必要があった工事(法面工事は除く) ・斜面上、若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地すべり防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事 ・ ・ ・国立公園内での工事。又は、イヌワシ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法等が制限された工事 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事 ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□及び○にレマーク、・に○を記入する。

監督員(1)

考査項目	細別	技術力キーワード一覧表	[事例] 具体的な評価技術力項目及び工事事例
		<p>■ 厳しい周辺環境等、社会条件への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 15 地中埋設物等の地中内の作業障害物 <input type="checkbox"/> 16 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物 <input type="checkbox"/> 17 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 <input type="checkbox"/> 18 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> 19 生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下・高架下等の作業スペースの制約 <input type="checkbox"/> 20 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業 <input type="checkbox"/> 21 工事区域周辺の緊急車両、通学等への配慮 <input type="checkbox"/> 22 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 <input type="checkbox"/> 23 その他(理由：) <p>■ 施工現場での対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 24 災害等での臨機の処置 <input type="checkbox"/> 25 施工状況(条件)の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等 <input type="checkbox"/> 26 その他(理由：) <p>■ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 27 その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項(理由：) 	<p>[事例：周辺環境や社会条件等の施工現場での対応が必要になった工事等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断函渠工事や電線地中化工事等の現場開削工事で、ガス管・水道管・電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事 ・鉄道営業線及び供用中道路を跨ぐ跨線橋又は跨道橋工事 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事 ・市街地での夜間工事 ・DID地区での工事 ・供用中の道路(概ね日交通量1万台以上)で片側交互通行の交通規制をした工事 ・供用中の道路での舗装及び修繕工事等 ・供用している自専道等の路上工事で交通規制が必要な工事 ・一般車両の通行が多く、工事実施にあたり、関係機関等との調整及び施工上の制約が多い工事 ・支障物件の移設が工程上クリティカルパスになり、工程の遅れを生じ、回復に機械、人員等の増強を行った工事 ・工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置・撤去を日々行い、交通開放を行った工事 ・地元調整や環境対策の制約が特に大きい工事 ・工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 ・工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事 ・環境対策が工程に大きな影響を与えた工事 ・施工区域、ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び車両・機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 ・大気圧を越える気圧下の作業室での工事 ・酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 ・地上・水面から10m以上(10m以下)での工事 ・工程上他工事の制約を受け、車両・機械、人員の増強を行った工事 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事 <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術
	<p>技術評価 [レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細に記述]</p>	<p>評点： _____ 点</p> <p>※・高度な技術力は加點評価とする。 ・加點は+13点～0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上又はそれ以下の点数を与えてもよい。</p>	<p>[高度技術のキーワードの詳細]</p>

※1 高度な技術力とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要があった技術力を評価するものである。なお、評価は「5 創意工夫」との二重評価はしない。

※2 詳細評価の記述にあたっては、監督員の合議とし、各考査項目はキーワードで大分類し、評価する詳細な高度な技術力を記述する。

※3 高度技術は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では「5 創意工夫」(別紙—1⑦)で評価しなかったものを対象とする。

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	1 創意工夫キーワード一覧表(創意工夫が多く見られるリスト)	施工性	品質	安全性	作業環境	その他(項目記載)		
5 創意工夫 [軽微なもの]	I 創意工夫 キーワード評価	<ul style="list-style-type: none"> ■ 準備・後片づけ関係 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1 測量・位置出しにおける工夫 <input type="checkbox"/> 2 その他(理由: _____) 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (_____)	
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 施工関係 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 3 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫、又は設備据付後の試運転調整の工夫 <input type="checkbox"/> 4 コンクリート二次製品の利用等の代替材の適用と工夫 <input type="checkbox"/> 5 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 6 部材・機材等の運搬・吊り方式等を含む施工方法等の工夫 <input type="checkbox"/> 7 設備工事で加工・組立等の工夫、又は電気工事の配線、配管等での工夫 <input type="checkbox"/> 8 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫 <input type="checkbox"/> 9 照明・視界確保等の工夫 <input type="checkbox"/> 10 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫 <input type="checkbox"/> 11 運搬車両・施工機械等の工夫 <input type="checkbox"/> 12 支保工、型枠工、足場工及び仮栈橋、覆工板、山留め等の仮設工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 13 施工管理及び品質向上等の工夫 <input type="checkbox"/> 14 その他(理由: _____) 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (_____)	
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 品質関係 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 15 集計ソフト等の活用と工夫 <input type="checkbox"/> 16 土工関係、設備関係、電気関係の工夫 <input type="checkbox"/> 17 コンクリートの打設関係の工夫(材料、打設、養生、出来高、品質等) <input type="checkbox"/> 18 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料の工夫 <input type="checkbox"/> 19 配筋、溶接作業等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 20 その他(理由: _____) 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (_____)	
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全衛生関係 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 21 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) <input type="checkbox"/> 22 安全教育、技術向上講習会等、安全パトロール、安全帯使用等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 23 現場事務所、労務者宿舍等の居住空間及び設備等の工夫 <input type="checkbox"/> 24 有毒ガス・可燃ガスの処理、及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 <input type="checkbox"/> 25 供用中の道路等の事故防止、一般車両突入時の被害軽減対策及び一般交通確保等ための工夫 <input type="checkbox"/> 26 作業環境が厳しい現場での環境改善等の工夫 <input type="checkbox"/> 27 ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> 28 その他(理由: _____) 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (_____)
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 施工管理関係 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 29 盛土の締固め、場所打ち杭や既成杭の施工高さ等の施工に関する工夫 <input type="checkbox"/> 30 施工計画書及び写真管理等の工夫 <input type="checkbox"/> 31 出来形、品質の計測関係等の工夫及び集計、管理図等の工夫 <input type="checkbox"/> 32 CAD、施工管理ソフト、度量管理システム等の活用 <input type="checkbox"/> 33 その他(理由: _____) 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (_____)
		<ul style="list-style-type: none"> ■ その他 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 34 自主的な社内検査等(ISOに係る品質管理を含む)による、さらなる品質向上の工夫(資料整理等) <input type="checkbox"/> 35 その他(理由: _____) <input type="checkbox"/> 36 その他(理由: _____) 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (_____)
		記述評価 (レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述)	<p>評点: _____ 点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に評価すべき創意工夫事例を加点点評価する。 ・ 加点は+7点~0点の範囲とする。 ・ 該当キーワード数の数と重みを勘案して評価する。 1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。 ・ 34 社内検査等については、内容により1~3点を加点する。 	[創意工夫の詳細評価]					

※1 創意工夫においては、「4 高度な技術力」の考査項目において評価するほどではないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点し、抽出記載する。
 ※2 「2 施工状況」、「3 出来形及び出来ばえ」においても、創意工夫は加対象とされるが、企業努力を引き立たせるため、本考査項目でも再評価する。
 ※3 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本考査項目では軽微なものを評価する。
 ※4 キーワードの評価(選定)及び詳細評価は、監督員の合議をもって記述する。
 ※5 「4 高度技術」との二重評価はしない。

工事成績採点表の審査項目の審査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レ マークを記入する。

監督員(2)

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況	II 工程管理	工程管理が非常に優れている	工程管理がやや優れている	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
		<input type="checkbox"/> 社会的に影響の大きい災害復旧工事及び施工条件の変更等による工期的な制約がある中で余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 <input type="checkbox"/> 地元調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 代休等を確保するなど、適切な人員管理と工程管理が地域住民に好印象を与えている。 <input type="checkbox"/> 配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 <input type="checkbox"/> その他 理由 : <p style="text-align: center;">※ 上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e 評価を行う。</p>				
	III 安全対策	a	b	c	d	e
		安全対策が非常に優れている	安全対策がやや優れている	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備である	安全対策が不備である
		<input type="checkbox"/> 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理活動が活発で他の模範となっている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全協議会活動に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮している。 <input type="checkbox"/> 安全職場実現への取り組みが地域全体から評価されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由 : <p style="text-align: center;">※ 上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e 評価を行う。</p>				

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員(2)

考査項目	細別	a	b	c
6 社会性等	I 地域への貢献等	地域への貢献が非常に優れている	地域への貢献がやや優れている	他の項目に該当しない場合
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <input type="checkbox"/> 河川等の環境保全を具体的に実施した。 <input type="checkbox"/> 国立公園や県立公園等及び周辺地域等の環境保全、貴重種等の動・植物への保護等に具体的に対策した。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 定期的に応報活動や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> 災害時等に地域への援助・救援活動に積極的に協力した。 <input type="checkbox"/> その他 理由： </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>※上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c評価を行う。</p> </div> <div style="width: 20%;"></div> </div>				

※ 地域への貢献等とは、工事の施工にともなって、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について、加点評価する。

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員(2)

考査項目	法令遵守等の該当項目一覧表	
8 法令遵守等	措置内容	点数
	<input type="checkbox"/> 1 指名停止3ヶ月以上	-20点
	<input type="checkbox"/> 2 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点
	<input type="checkbox"/> 3 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点
	<input type="checkbox"/> 4 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点
	<input type="checkbox"/> 5 文書注意	- 8点
	<input type="checkbox"/> 6 口頭注意	- 5点
	<input type="checkbox"/> 7 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合(不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。)	- 3点
<input type="checkbox"/> 該当項目なし		
<p>① 本評価項目(8 法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適用する。</p> <p>② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、社内検査員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。</p> <p>[上記で評価する場合の適用事例]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。 2 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。 3 宿舍環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された。 4 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関連法令に違反する事実が判明した。 5 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕又は公訴された。 6 建設業法に違反する事実が判明した。(一括下請け、上請け、技術者の専任違反、等) 7 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。 8 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9 監督又は検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。 10 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。 11 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。 12 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。 13 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 14 安全管理の処置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、又は重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 15 施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わなかった。 16 その他 理由： 		

工事成績採点表の審査項目の審査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レ マークを記入する。

検査員(完成・出来形)

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況	I 施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
		<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第18条第1項第1号から5号に基づく設計図書の照査を行い、施工がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書と現場施工方法が一致している。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事材料の資料の整理及び確認がなされ、管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。</p> <p><input type="checkbox"/> 見本又は工事記録写真等の整理に工夫がみられる。</p> <p><input type="checkbox"/> 立会確認の手続きが事前になされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされている。</p> <p><input type="checkbox"/> リサイクルへの取り組みが適切になされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 建設業退職金共済の証紙が適切に配布され管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 計画内容に変更が生じた場合は、その都度、当該工事着手前に変更計画書を提出している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制が一致している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したのものとなっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の関係書類及び資料整理がよい。</p> <p><input type="checkbox"/> 社内の管理基準等が作成され管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由()</p> <p>該当項目が 90%以上・・・a 該当項目が 80%以上90%未満・・・b 該当項目が 60%以上80%未満・・・c 該当項目が 60%未満・・・d</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=その他を除く全項目数(16)-対象外項目数() 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p>				<p><input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により修補指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、監督員から文書により改善指示を行った。</p> <p>上記1項目該当事項があれば・・・d</p> <p>2項目以上該当すれば・・・・・・e</p>

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レ マークを記入する。

検査員(完成・出来形)

考査項目	a	b	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ I 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、下記の「評価対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目で工程能力図等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目で工程能力図等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	
	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 出来形管理図又は出来形管理表に創意工夫がある <input type="checkbox"/> 出来形測定において不可視部分の出来形が写真で的確に判断できる。 <input type="checkbox"/> その他理由()			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e	
	① 出来形の評定は、工事全般を通したものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。 ③ 出来形管理とは、「土木工事の施工管理基準及び規格値」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。 ④ 工程能力図の作成を必要としない工事については、c評価とする。 ※ ばらつきの判断は別図参照 ○ばらつきが50%程度～80%程度の工種 ○ばらつきが80%程度以上の工種			<input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定し、管理している。 <input type="checkbox"/> 自社の写真管理基準等を設定し、創意工夫をもって適切に管理している。)		
機械設備工事 ・ 電気設備工事 ・ 電気通信工事	a	b	c	d	e	
※上記欄によらず、当該欄で評価	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である	
	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 出来形管理図又は出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に判断できる。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定して、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 自社の写真管理基準等を設定し、創意工夫をもって適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 製品の形状、寸法の設計値に対する実測値が許容範囲内であり、満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の性能、機能において、実測値が設計値以上となっており、満足している。 <input type="checkbox"/> その他理由()			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e	
	該当項目が 90%以上・・・a 該当項目が 80%以上90%未満・・・b 該当項目が 60%以上80%未満・・・c 該当項目が 60%未満・・・d			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=その他を除く全項目数(6)-対象外項目数() 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。		

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レ マークを記入する。

検査員(完成・出来形)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	コンクリート構造物工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> スペーサーの材質が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
		<input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックではなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 ※ 別紙—4を参照 上記該当があれば・・・c			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数(12)-対象外項目数() 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。 <input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがある場合で、無処理の場合は状況に応じて d 又は e とする。	
	土工事 (切土・盛土・築堤等工事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施している。 <input type="checkbox"/> 段切り等が施工前に適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工している。 <input type="checkbox"/> 締固めを適切な条件で施工している。 <input type="checkbox"/> 筋芝又は種子吹付等を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締め固め等の処理を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が適正である。 <input type="checkbox"/> CBR試験等を行っている。 <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
		<input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックではなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 ※ 別紙—4を参照 上記該当があれば・・・c			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数(9)-対象外項目数() 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レ マークを記入する。

検査員(完成・出来形)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 裏込材、胴込めコンクリートの充てん又は締め固めが充分で、空隙が生じていない。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等で、材料のかみ合わせ又は連結が適切で、裏込材の吸い出しの恐れがない。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切である。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わされ、端部処理が適切である。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合、施工後の養生が適切である。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で、材料の連結又はかみ合わせが適切である。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c <input type="checkbox"/> コンクリートブロック張等にクラックがある場合、進行性又は有害なクラックではなく、発生したクラックには適切な処置を行っている。 ※別紙—4を参照 上記該当があれば・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数(7)-対象外項目数() 評価値()%=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準じる) (堰・水門等工場製作の鋼構造物を含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] [工場製作関係] <input type="checkbox"/> 鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認されている。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) <input type="checkbox"/> 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 [架設関係] <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーション(検定、調整)を実施している。 <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチップング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面に水切勾配がついている。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 6項目以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 5項目・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 4項目以下・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数(8)-対象外項目数() 評価値()%=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レ マークを記入する。

検査員(完成・出来形)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	防災・急傾斜構造物工事 及び (地すべり防止工事) (治山工事を含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準値を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。 <input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。 <input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
		[評価対象項目] [共通] <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒経・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋又は鋼材の規格がミルシートで確認できる。 [砂防・治山構造物工事に適用] <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> アンカーが設計図書どおり施工してあることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 [地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)] <input type="checkbox"/> アンカーが設計図書どおり施工してあることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組立にあたり、偏心と歪みに配慮し、施工を行っている。 <input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工を行っている。 <input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向、角度が適正となるように施工上の配慮がなされている。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・・・・c			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数()-対象外項目数() 評価値()%=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。	
		[共通] <input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックではなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 ※ 別紙—4を参照 上記該当があれば・・・c			<input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがある場合で、無処理の場合は状況に応じて d 又は e とする。	

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レ マークを記入する。

検査員(完成・出来形)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	舗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] [路床・路盤工関係] <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、CBR試験を測定し、適正な舗装設計の基礎資料収集を行っている。 <input type="checkbox"/> 路床・路盤工のブルーローリングを行っている。 [アスファルト舗装工関係] <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> 舗設後、直ちに供用する必要のある現場で、交通開放を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 舗装の各層の継ぎ目が仕様書に定められた数値以上ずらしている。 <input type="checkbox"/> 目地の処理が仕様書に定められたとおりであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締め固め等)の配慮が行われている。 [コンクリート舗装関係] <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> チェアー、タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 6項目以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 5項目・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 4項目以下・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
					① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数()-対象外項目数() 評価値()%=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c	
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目]				

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表（土木・設備工事）

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員（完成・出来形）

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	法面工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] [共通] <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。(岩の場合は浮石が除去されている。) [種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係] <input type="checkbox"/> 土壌試験を実施し、施工に反映している。 <input type="checkbox"/> ネット等の重ね幅が10cm以上確保されている。 <input type="checkbox"/> 吹き付け厚さが均等である。 <input type="checkbox"/> 吹き付け厚さによって、必要な場合2層以上に分けて行っているのが確認できる。 [コンクリート又はモルタル吹付工関係] <input type="checkbox"/> 金網等の重ね幅が10cm以上確保されている。 <input type="checkbox"/> 吹き付け厚さが均等である。 <input type="checkbox"/> 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。 [現場打法枠工関係] <input type="checkbox"/> アンカーの施工長さが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 4項目以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 3項目・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 2項目以下・・・c ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()＝全項目数()－対象外項目数() 評価値(%)＝評価数()／対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レ マークを記入する。

検査員(完成・出来形)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	基礎工 工事 (地盤改良等を含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕がない。 <input type="checkbox"/> 杭の打止め管理方法又は場所打ち杭の施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 <input type="checkbox"/> 水平度、安全度、鉛直度等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動、及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度、比重等が適切に管理されている。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組立にあたって、偏心と歪みが少なくなるよう配慮されている。 <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	コンクリート橋工事 (PC及びRCを対象)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引っ張り強度又は曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> スペーサーの材質が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 装置(機器)のキャリブレーション(検査、調整)が実施されている。 <input type="checkbox"/> 緊張及びグラウト管理が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っている。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数(8)-対象外項目数() 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。						

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レ マークを記入する。

検査員(完成・出来形)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	塗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) <input type="checkbox"/> ケレンが入念に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗膜に有害な付着物がない。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に確認できる。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 5項目以上(80%以上)・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 4項目 (60%以上80%未満)・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 3項目以上(60%未満)・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
トンネル 工 事		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象事項] <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ等を行っている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄網の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋等の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm(一目)以上重ね合わせていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートは浮石等をのぞいた後に、15cm以下の厚さで地山と密着するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの打継ぎ部の施工で清掃及び湿潤状態が確認できる。 <input type="checkbox"/> ロックボルト挿入前にくり粉除去の清掃がなされている。 <input type="checkbox"/> 逆巻の場合、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎ目が同一線上にないことが確認できる。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 対象評価項目数()=全項目数(6)-対象外項目数()
評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
- ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 対象評価項目数()=全項目数(13)-対象外項目数()
評価値(%)=評価数()/対象評価項目数()
- ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員(完成・出来形)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	プレキャスト コンクリート 製品据付工事 (排水工等)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書又は試験成績書で確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められた内径、荷重等の条件が満足されていることが、証明書、社内検査記録、写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられ、構造物の基礎材料の材質及び締固め等が適切である。 <input type="checkbox"/> 継目部の施工にあたって、付着、水密性を保ち段差がない。 <input type="checkbox"/> 側溝蓋、グレーチング等の附帯構造物がゆるみがなく固定されている。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 4項目以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 3項目・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 2項目以下・・・c ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	プレキャスト 擁壁据付工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書又は試験成績書で確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められた荷重等の条件が満足されていることが、品質証明書等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられ、支持地盤の地耐力が平板載荷試験等で確認され、構造物の基礎材料の材質及び締固めが適切である。 <input type="checkbox"/> 目地施工が設計図書に適合し、接合面の付着・水密性が確保されている。 <input type="checkbox"/> 調整コンクリートの材質及び施工方法が適切である。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 4項目以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 3項目・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 2項目以下・・・c ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 対象評価項目数()=全項目数(5)-対象外項目数()
 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数()
- ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員(完成・出来形)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	(大型)ブロック積(張)・石積(張)工事(護岸工を除く)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書又は試験成績書で確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められた控長、又は安定計算等の条件が満足されていることが、証明書、社内検査記録、写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。又は、擁壁等の支持地盤の地耐力が平板載荷試験等で確認されている。 <input type="checkbox"/> 裏込材、胴込めコンクリートの充てん又は締め固めが充分で、空隙が生じていない。 <input type="checkbox"/> 目地の処理及び施工間隔、また、水抜パイプの配置及び吸出し防止対策が適切に施工されている。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 4項目以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 3項目・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 2項目以下・・・c ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	補強土工・補強土壁工	a	b	c	d	e
		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 補強材料及び壁面材料の品質が証明書又は試験成績書で確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められたタイバー、ストリップ等の補強材料の設置位置、延長等が、施工管理資料、社内検査記録及び写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土材料のCBR試験を行い、締め固めを適切な条件で行っている。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められた暗渠排水管等の排水施設の設置位置、断面、延長等が、施工管理資料、社内検査記録及び写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 壁面に接するフィルター材(碎石等)の品質、施工幅及び締め固め方法が適切である。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 4項目以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 3項目・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 2項目以下・・・c ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
					① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数(5)-対象外項目数() 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員(完成・出来形)

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ II 品質		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。	
		[評価対象項目] (制作)					
	捨石・被覆石・根固石工事(単独工事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。	
		[評価対象項目]				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 4項目以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 3項目・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 2項目以下・・・c ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c				① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数(10)-対象外項目数() 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員(完成・出来形)

検査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	木材工事 (単独工事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 使用する木材の末口寸法等が設計図書と適合し、有害な腐れ、割れ等がない。 <input type="checkbox"/> 土台工に木材を使用する場合、樹皮をはいだ生木を用いている。 <input type="checkbox"/> 木坑の先端は角すい形に削るものとし、角すい形の高さは径の1.5倍程度となっている。 <input type="checkbox"/> 粗朶沈床、木工沈床の施工にあたって、共通仕様書に定められた方法で施工している。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせ又は連結が適切で、裏込材の吸い出しの恐れがない。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 4項目以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 3項目・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 2項目以下・・・c ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	カゴマット工事 (単独工事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書又は試験成績書で確認できる。 <input type="checkbox"/> 中詰め石の大きさが設計図書及び共通仕様書に適合していることが、品質証明書、社内検査記録、材料検収写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 詰め石の施工にあたって、空隙が少ない。 <input type="checkbox"/> 遮水シートの重ね幅が設計図書及び共通仕様書に適合していることが、社内検査記録、工書写真等で確認できる。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 4項目以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 3項目・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 2項目以下・・・c ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 対象評価項目数()=全項目数(5)-対象外項目数()
評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数()
- ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員(完成・出来形)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	床版補強工事(鋼板接着工、炭素繊維シート接着工)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。 <input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。 <input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数(10)-対象外項目数() 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c
		[評価対象項目] (鋼板接着工) <input type="checkbox"/> 鋼材の員数照合がミルシート等(現場照合を含む)で確認されている。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち床版のクラック調査を行い、設計図書に基づいてクラック処理を行っている。 <input type="checkbox"/> 床版部接着面の不陸調整が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 接着剤等の主要な樹脂は、施工中現場にて供試体を採取し、設計図書に定める規格に適合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料、その他使用材料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 (炭素繊維シート接着工) <input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書又は試験成績書で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち床版のクラック調査を行い、設計図書に基づいてクラック処理を行っている。 <input type="checkbox"/> 接着剤等の主要な樹脂は、施工中現場にて供試体を採取し、設計図書に定める規格に適合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工中に付着強度試験が行われ、シートの品質が確認されている。 <input type="checkbox"/> 使用材料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 4項目以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 3項目・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 2項目以下・・・c ※ ばらつきが少なく、該当項目が 2項目以下・・・c				

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員(完成・出来形)

審査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	管布設工事 (下水道)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数(5)-対象外項目数() 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 使用材料の品質が証明書又は試験成績書で確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋設物の位置確認、露出した埋設物の報告、協議、処理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 掘削、土留工及び覆工が、設計図書及び共通仕様書に基づいて適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 管、人孔の布設及び接合が、設計図書及び共通仕様書に基づいて適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 埋戻しの材料、方法、及び路面復旧工が、設計図書に基づいて適切に施工されている。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 4項目以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 3項目・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 2項目以下・・・c ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	
構造物撤去工事、解体工事 (単独工事)	構造物撤去工事、解体工事 (単独工事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数(5)-対象外項目数() 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 振動、騒音、粉塵、汚濁木等により、第三者に被害を及ぼさないよう施工している。 <input type="checkbox"/> 供用中の道路、住宅等に影響を及ぼさないよう施工している。 <input type="checkbox"/> 本体構造物の一部を撤去する場合には、本体構造物に損傷を与えないよう施工している。 <input type="checkbox"/> 取り壊し殻を分離し、それぞれ収集、運搬、処理が適正に行われていることが、産業廃棄物管理票(マニフェスト)で確認できる。 <input type="checkbox"/> その他の事項について設計図書に基づいて施工されている。 ※ 該当項目が 4項目以上・・・a ※ 該当項目が 3項目・・・b ※ 該当項目が 2項目以下・・・c ※ 該当項目が 80%以上・・・a ※ 該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ 該当項目が 60%未満・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員(完成・出来形)

検査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	植栽工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 活着管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。 <input type="checkbox"/> 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根にふれないよう均一に施肥されている。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 5項目以上(80%以上)・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 4項目 (60%以上80%未満)・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 3項目以下(60%未満)・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	防護柵(網)・標識・区画線等設置工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] [共通] <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い適切に施工し、規格値を満足している。 [防護柵(網)・標識等設置関係] <input type="checkbox"/> 防護柵、標識等の設置位置、高さ等が設計図書に適合し、視認性がよい。 <input type="checkbox"/> 防護柵、標識等の支柱の根入長が設計図書に適合し、ゆるみがないよう堅固に施工されている。 [区画線等設置関係] <input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が10%以下である。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 3項目以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 2項目・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 1項目以下・・・c			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
					① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数(6)-対象外項目数() 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	
					※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c	

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	港湾築造工事 漁港整備工事 (浚渫、海岸築造工事を含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 浚渫工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 <input type="checkbox"/> 床堀工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 <input type="checkbox"/> 浮泥を巻き込まないように置換材を投入していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> サンド・砕石ドレーンが連続した一様な形状に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ペーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> サンドコンパクションパイルが連続した一様な形状に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ロッドコンパクションの打込記録から、一様な品質の施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 深層混合処理の打込記録から、仕様書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> マットが破損なく施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないように堅固に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込めが既設構造物及び防砂目地板の破損に注意して施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材の数量照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認されている。 <input type="checkbox"/> 杭及び矢板に損傷及び補修痕がない。 <input type="checkbox"/> 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 <input type="checkbox"/> 控工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 <input type="checkbox"/> ケーソン進水、仮置、曳航及び回航の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 <input type="checkbox"/> ケーソン据付及び中詰の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック据付の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 <input type="checkbox"/> 付属工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 <input type="checkbox"/> 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c				
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数(23)-対象外項目数() 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員(完成・出来形)

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ II 品質	魚礁設置工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。	
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 捨石等の品質規格及び形状寸法が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 鋼材等の品質規格と員数の照合がミルシート等で確認されており、形状寸法が設計図書と適切確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接施工上の注意事項がまもられている。 <input type="checkbox"/> 溶接検査が所定どおり実施されており、内容が確認できる。 <input type="checkbox"/> 主要部材の切断は自動ガス切断で行われており、切断面の品質が規定を満足している。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質規格と員数の照合がミルシート等で確認されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び継ぎ手部が、示方書、仕様書等に定められたとおり施工されている。 <input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外しに関して適切に管理されている。 <input type="checkbox"/> コンクリートの現場養生が、仕様書の規定に従い適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートにクラックの発生がない。 <input type="checkbox"/> 沈設に関して管理されており、設計図書、仕様書に定められたとおり施工されている。			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d		<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・・・・c					
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数(14)-対象外項目数() 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。					

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員(完成・出来形)

検査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	水路工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。 <input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> コンクリートの品質管理が適切に行われており、規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の配置が適切である。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の施工は、細部にわたり十分な注意が払われている。 <input type="checkbox"/> 水路の伸縮目地、止水板が、所定の位置に施工されている。 <input type="checkbox"/> 現場打ち水路でアンダードレーン、ウィープホール等の機能が阻害されていない。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品の運搬、保管において、十分な注意が払われている。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品水路の施工において、とおりがよく規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 埋戻しが入念に施工されている。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c		<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d		<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
	ほ場整備工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。 <input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 石礫、その他の雑物の除去において、十分な注意が払われている。 <input type="checkbox"/> 排水路等の埋戻しが入念に施工されている。 <input type="checkbox"/> 表土扱いに当たり、厚さの確認、雑物の混入防止に十分な注意が払われている。 <input type="checkbox"/> 基盤、表土の均平度が良好である。 <input type="checkbox"/> 畦畔、法面は十分締固めて施工され、法勾配も設計どおりである。 <input type="checkbox"/> 道路の線形等が良好で、設計図書に定められたとおりに施工されている。 <input type="checkbox"/> 用排水路のコンクリート構造物及びコンクリート二次製品等の施工において、創意工夫がなされ規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 面積管理がなされており、規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 暗渠排水工、湧水処理工において、十分な効果が発揮されている。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c		<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d		<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 対象評価項目数()=全項目数(8)-対象外項目数()
 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数()
- ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 対象評価項目数()=全項目数(9)-対象外項目数()
 評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数()
- ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員(完成・出来形)

検査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	管水路工事及び畑地かんがい工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 使用材料の品質が証明書又は試験成績書で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管及び付属品の運搬、保管において、十分な注意が払われている。 <input type="checkbox"/> 掘削、埋戻しに関して、管理がなされており規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 基礎工の施工が、設計図書及び仕様書に定められたとおりに施工されている。 <input type="checkbox"/> 管の布設、接合が、設計図書及び仕様書に定められたとおりに施工されている。 <input type="checkbox"/> 管の埋設深及び延長の管理がなされ、規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品水路の施工において、とおりがよく規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 路面復旧が設計図書に基づいて適切に施工されている。			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数(8)-対象外項目数() 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。						
	ため池工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 築堤材料の土質試験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 仕様書に定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 掘削面以下を乱さないように施工している。 <input type="checkbox"/> 適切な排水対策を実施している。 <input type="checkbox"/> 締固めを適切な条件で施工している。 <input type="checkbox"/> コンクリートの品質管理が適切に行われており、規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び継手部が、仕様書、示方書等に定められたとおりに施工されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート打継目の処理が、仕様書等の規定に従い適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> コンクリートの表面に、漏水箇所や補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックの発生がない。			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記項目に該当があれば・・・e
※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・c						
① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数(10)-対象外項目数() 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。						

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	機械設備工事 ・ 電気設備工事	品質管理が適切である [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が充分実施され、内容が確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 部品の品質、性能が証明書等で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の機能、性能管理が設計図書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係が、所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が設計図書のとおり確保され、内容が確認でき、満足している。 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 90%以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 80%以上90%未満・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%以上80%未満・・・c ※ ばらつきが少なく、該当項目が 60%未満・・・d	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である <input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	品質管理が不備である <input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記1項目該当があれば・・・e
	維持修繕工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、土木工事施行管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。	<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。 <input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記1項目該当があれば・・・e
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> (理由：) <input type="checkbox"/> (理由：) <input type="checkbox"/> (理由：) <input type="checkbox"/> (理由：) ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 3項目以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 2項目・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 1項目以下・・・c ※ 主たる工種の検査項目で検査し、最大検査項目は4項目とする。				

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 対象評価項目数()=全項目数(9)-対象外項目数()
評価値(%) = 評価数() / 対象評価項目数()
- ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。

工事成績採点表の考査項目の考査項目別運用表(土木・設備工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員(完成・出来形)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質		<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目]				
上記意外の工事又は合併工事	工種名	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが少ない。 [関連基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別図参照。		<input type="checkbox"/> 品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 又は、一部の項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。又は、大部分あるいは全ての項目について度数表等が不備で、ばらつきが判断できない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		[評価対象項目]				
		<input type="checkbox"/> (理由:) <input type="checkbox"/> (理由:) <input type="checkbox"/> (理由:) <input type="checkbox"/> (理由:) <input type="checkbox"/> (理由:)			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 文書により修補指示を行った。 上記1項目該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条2項に基づき破壊検査を行った。 上記1項目該当があれば・・・e
		※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 ※ ばらつきが少なく、該当項目が 4項目以上・・・a ※ ばらつきが少なく、該当項目が 3項目・・・b ※ ばらつきが少なく、該当項目が 2項目以下・・・c ※ 主たる工種の考査項目で考査し、最大考査項目は5項目とする。				
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は横線を引いて削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 対象評価項目数()=全項目数()-対象外項目数() 評価値(%)=評価数()/対象評価項目数() ④ なお、削除後の評価項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				

工事成績採点表の審査項目の審査項目別運用表(土木・設備工事)

検査員(完成・出来形)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3 出来形及び出来ばえ Ⅲ 出来ばえ	コンクリート構造物工事 防災・急傾斜構造物工事	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。		※該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	トンネル工事	<input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	土工事 (盛土・築堤工事等)	<input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	切土工事	<input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部には干渉部等を設け、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 施工面の木根等が確実に施工されている。 <input type="checkbox"/> 施工面には滞水防止等の処理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 残土等は適切に処理されている。		※該当6項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせが良い、又はクラックがない。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。		※該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	
	鋼橋工事 (堰、水門等工場製作を含む)	<input type="checkbox"/> 表面に補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	地すべり防止工事	<input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	
	舗装工事	<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	法面工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	

工事成績採点表の審査項目の審査項目別運用表(土木・設備工事)

検査員(完成・出来形)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない	
3 出来形及び出来ばえ Ⅲ 出来ばえ	基礎工工事 (地盤改良等を含む)	<input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部、天端仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。		※該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	
	コンクリート橋工事	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当6項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	塗装工事 (工場塗装を除く)	<input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	植栽工事	<input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 植栽帯の全体的な美観が良い。		※該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	
	防護柵(網)工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	標識工事	<input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識の向き、角度、支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板、支柱に変色がない。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎の埋戻し等が入念に施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な取り扱いがしやすい。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	区画線工事	<input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な取り扱いがしやすい。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	

工事成績採点表の検査項目の検査項目別運用表(土木・設備工事)

検査員(完成・出来形)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3 出来形及び出来ばえ Ⅲ 出来ばえ	プレキャストコンクリート製品据付工事(排水工等)	<input type="checkbox"/> プレキャストコンクリート製品に有害なひび割れや欠損等がない。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い、又は、施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	プレキャスト擁壁据付工事	<input type="checkbox"/> プレキャストコンクリート製品に有害なひび割れや欠損等がない。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	(大型)ブロック積(張)・石積(張)工事 (護岸工を除く)	<input type="checkbox"/> プレキャストコンクリート製品に有害なひび割れや欠損等がない。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 目地の仕上げが良く、クラックや漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	補強土工・補強土壁工	<input type="checkbox"/> 法面又は壁面にクラック等がない。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	

工事成績採点表の調査項目の調査項目別運用表(土木・設備工事)

検査員(完成・出来形)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

調査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3 出来形及び出来ばえ Ⅲ 出来ばえ	捨石・被覆石・根固石工事(単独工事)	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い、又は、施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	木材工事(単独工事)	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	カゴマット工事(単独工事)	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	床版補強工事 (鋼板接着工、炭素繊維シート接着工)	<input type="checkbox"/> 表面に補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	管布設工事(下水道)	<input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 人孔蓋等がゆるみなく安定している。 <input type="checkbox"/> 柵の位置が適切である。 <input type="checkbox"/> 路面復旧と既設構造物及び人孔蓋とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 路面復旧後の全体的な美観が良い。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	構造物撤去工事、解体工事(単独工事)	<input type="checkbox"/> 残存する構造物に損傷がない。 <input type="checkbox"/> 取り壊し殻が残存していない。 <input type="checkbox"/> 整地状況が良い。 <input type="checkbox"/> 解体撤去後の全体的な美観が良い。		※該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	

工事成績採点表の検査項目の検査項目別運用表(土木・設備工事)

検査員(完成・出来形)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

検査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3 出来形及び出来ばえ Ⅲ 出来ばえ	魚礁設置工事	<input type="checkbox"/> 鋼構造物の出来ばえが良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の出来ばえが良い。 <input type="checkbox"/> 捨石投入の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 沈設位置の精度が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	水路工事	<input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 埋戻しの施工が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目以下・・・c	
	ほ場整備工事	<input type="checkbox"/> 石礫等の雑物処理状況が良い。 <input type="checkbox"/> 整地状況及び均平度が良い。 <input type="checkbox"/> 表土厚が良好で過転圧になっていない。 <input type="checkbox"/> 廃水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 畦畔、法面の締固め状況が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物が入念に施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当6項目以上・・・a 該当5項目・・・b 該当4項目・・・c 該当3項目以下・・・d	
	管水路工事 畑地かんがい工事	<input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 管路の埋設深が適切である。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	ため池工事	<input type="checkbox"/> 盛土及び構造物の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 盛土及び構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	

工事成績採点表の審査項目の審査項目別運用表(土木・設備工事)

検査員(完成・出来形)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	工種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない	
3 出来形及び出来ばえ Ⅲ 出来ばえ	機械設備工事	<input type="checkbox"/> 仕上げ状態が良く、全体的な美観に優れている。 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備、操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が優れている。 <input type="checkbox"/> 異常な振動、騒音がなく、動きもスムーズで、総合的な機能、運転性能が優れている。 <input type="checkbox"/> 公共物としての安全、環境、維持管理等への配慮が良い。 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等細部にわたる配慮が良い。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	電気設備工事 照明設備工事 その他類似工事	<input type="checkbox"/> 構造物等にきめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物としての安全、環境、維持管理等への配慮が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 製作上の補修痕跡がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な取り扱いがしやすい。		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	維持修繕工事	<input type="checkbox"/> 小構造物等にも細心の注意が払われている。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	
	上記以外の工事 又は 合併工事	<input type="checkbox"/> (理由：) <input type="checkbox"/> (理由：) <input type="checkbox"/> (理由：) <input type="checkbox"/> (理由：) <input type="checkbox"/> (理由：)		※該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	工種名	<input type="checkbox"/> (理由：) <input type="checkbox"/> (理由：) <input type="checkbox"/> (理由：) <input type="checkbox"/> (理由：) <input type="checkbox"/> (理由：) ※ 該当工種からの審査項目で審査し、最大審査項目は5項目とする。			

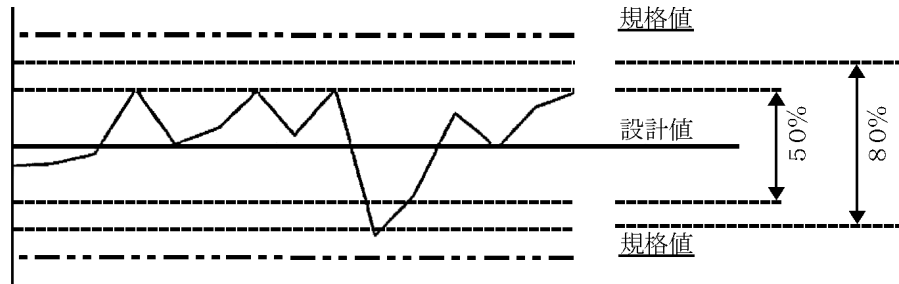
別紙—4(土木工事)

[記入方法及び留意事項]

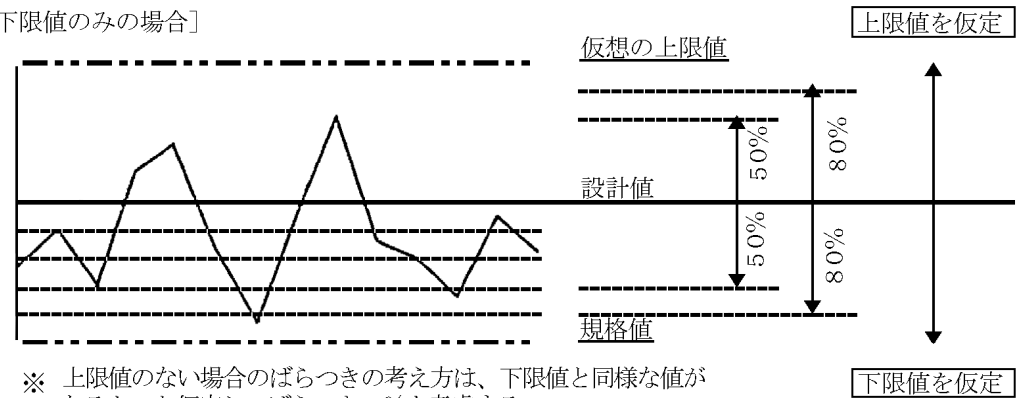
1 出来形及び品質のばらつきの考え方

[管理図の場合]

[上・下限値がある場合]

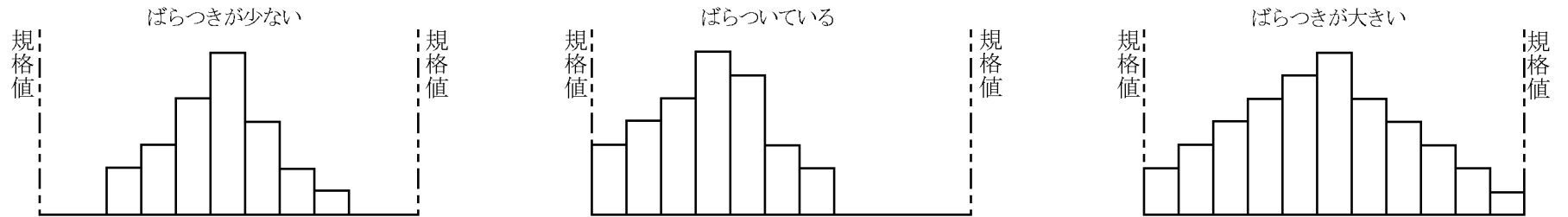


[下限値のみの場合]



※ 上限値のない場合のばらつきの考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定し、ばらつきの%を考慮する。

[度数表又は、ヒストグラムの場合]



2 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 主たる工種(許可業種を優先する。)で評定する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。
- (2) コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。
- (3) 「3 出来形及び出来ばえ、II 品質」に係る考査項目別運用表(別紙—3③—1~③—18)は、主たる工種の欄を適用するが、適用工種がない場合は「上記以外の工事又は合併工事」(別紙—3③—19)を活用するものとする。
- (4) 出来形検査においては、各検査時点での対象工種で判断するものとし、これ以前の出来形検査の対象は除くものとする。

3 コンクリート構造物のクラックについて

- (1) クラックが発生した構造物では、「進行性又は有害なクラックではなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置をしている」等が見られたら、c評価とする。
- (2) 「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理の場合は、状況に応じて、d又はe評価とする。

4 その他

- (1) 「4 高度技術」、「5 創意工夫」、「6 社会性等」は、請負者から提出された実施状況に関する書類を活用して、評定を行う。
- (2) 施工及び管理については、請負者から提出又は提示された実施状況に関する書類を参考するとともに、請負者にその他必要な資料(設計図書に定められているものを除く)の提出又は提示を指示するものとする。
- (3) 建築工事に係る電気設備工事及び暖冷房衛生設備工事は、建築・設備工事によるものとする。